

プログラム

I. 2021年度 日本薬学会関東支部奨励賞表彰及び受賞講演

1. 表彰式

Track 9 12:50–13:10

日本薬学会関東支部長 本間 真人（筑波大学附属病院薬剤部）

2. 受賞講演

Track 9 13:20–14:00

13:20 AL-1 次世代中分子ペプチド医薬品創出に向けた基盤技術の開発

○三澤 隆史（国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部）

座長：出水 庸介（国立衛研）

13:40 AL-2 特徴的な生物活性を有する天然有機化合物を中心とした創薬研究、全合成および反応開発研究

○大多和 正樹（北里大・薬）

座長：長光 亨（北里大・薬）

Track 10 13:20–14:20

13:20 AL-3 脳内ビタミンKの生理機能の解明および脳神経再生を志向した新規誘導体の創製

○廣田 佳久（芝浦工業大学大学院・生命創薬科学, 芝浦工業大学・生命科学）

座長：須原 義智（芝浦工大・システム理工）

13:40 AL-4 薬物の包括的な作用理解を実現する作用分離解析の開発

○水野 忠快（東京大・薬）

座長：楠原 洋之（東大院・薬）

14:00 AL-5 肝OATP基質薬および内在性基質の生理学的速度論モデル構築に基づいた薬物相互作用予測法の開発

○吉門 崇（横浜薬大・薬）

座長：千葉 康司（横浜薬大）

II. 大会企画シンポジウム

シンポジウム S1

Track 1 14:30–16:30

薬学研究を支える最先端有機合成化学

座長：荒井 秀、原田慎吾（千葉大院・薬）

- 14:30 S1-1 ヒドリド移動型C–H結合変換による分子構築
○森 啓二（農工大院・工）
- 14:54 S1-2 生物活性天然物の触媒的不斉合成研究
○渡辺 匠（微化研）
- 15:18 S1-3 OBOCライブラリー戦略に基づくペプチド系天然物の機能制御
○伊藤 寛晃、井上 将行（東大院薬）
- 15:42 S1-4 遷移状態の精密設計に基づく新反応開発
○平野 圭一¹、内山 真伸^{1,2}（¹東大院薬、²信大 RISM）
- 16:06 S1-5 MHAT/RPCを基盤にした複素環合成
○重久 浩樹（武蔵野大・薬）

シンポジウム S2

Track 2 14:30–16:30

ファイトケミカルの分子作用機序を探る

座長：山崎 真巳、石橋 正己（千葉大院・薬）

- 14:30 S2-1 生薬の性味、古典的薬能、および修治と、その科学的評価
– 特にゴシュユ、マオウを例として –
○小林 義典（北里大・薬）
- 15:00 S2-2 動物実験から明らかになったワサビ成分による消化管機能調節の可能性—
温度感受性TRPA1チャネルの役割と胃機能障害モデル動物の開発—
○田嶋 公人、堀江 俊治（城西国際大・薬）
- 15:30 S2-3 漢方薬の作用機序解明に向けた取り組み – 成分の体内動態と活性予測
○大淵 勝也（株式会社ツムラ 研究開発本部）
- 16:00 S2-4 生物活性を指標としたがんと生活習慣病の治療薬のシーズ探索研究
○松尾 侑希子、三卷 祥浩（東京薬科大学・薬学部）

シンポジウム S3

Track 3 14:30–16:30

最先端技術で切り拓くこれからの創薬と医療

座長：西田 紀貴、上原 知也（千葉大院・薬）

- 14:30 S3-1 NMRを用いた動的な生命現象の理解と創薬への応用
○竹内 恒（産業技術総合研究所・細胞分子工学研究部門）
- 15:00 S3-2 動的平衡状態誘起による自然免疫受容体TLR7の阻害機構
○清水 敏之（東京大・薬）
- 15:30 S3-3 創薬ビッグデータを用いた世界初の連合学習プラットフォーム
MELLODDY
○藤 秀義（アステラス製薬株式会社）

- 16:00 S3-4 小型サイクロトロンを用いた放射性核種の製造
— 短寿命放射性薬剤の活用を目指して —
○高橋 和弘 (福島県立医大・先端臨床研究センター)

シンポジウム S4

Track 4 14:30–16:30

次世代創薬を支える基礎生命科学

座長：殿城 亜矢子、山口 憲孝 (千葉大院・薬)

- 14:30 S4-1 細胞外シャペロンによる血液内の異常タンパク質分解機構
○板倉 英祐 (千葉大院・理)
- 14:54 S4-2 異常細胞排除機構を利用した先制医療法の開発
○仁科 博史 (東京医科歯科大難治研・発生再生生物学分野)
- 15:18 S4-3 生命の脂質多様性から解き明かす病態・バイオロジー研究
○有田 誠 (慶応大・薬)
- 15:42 S4-4 若手薬学研究者から見たコラーゲンビトリゲル膜の魅力：非臨床試験を加速させるin vitroバリア機能薬理学の提唱
○宇津 美秋、竹澤 俊明 (農研機構・生物研)
- 16:06 S4-5 腸内細菌によるショウジョウバエ寿命制御基盤
○小幡 史明^{1,2,3}、三浦 正幸³ (¹理研・生命機能科学、²京都大・生命、³東京大・薬)

シンポジウム S5

Track 5 14:30–16:30

計算機科学が拓く薬学の未来

座長：樋坂 章博 (千葉大院・薬)、吉門 崇 (横浜薬大)

- 14:30 S5-1 疾患リスク解析における機械学習の有用性と課題
○吉岡 英樹 (筑波大・医)
- 14:54 S5-2 生理学的薬物速度論解析の現在地 ~新しい計算機科学との融合~
○吉門 崇 (横浜薬大・薬)
- 15:18 S5-3 トランスオミクスアプローチによる一細胞レベルの心不全分子メカニズムの解明
○濱野 桃子¹、野村 征太郎²、小室 一成²、山西 芳裕¹ (¹九州工業大・情報工学、²東京大・医)
- 15:42 S5-4 計算機を用いた細胞の薬物応答性理解と予測の取り組み
○荻谷 嘉顕 (東大病院・薬剤部)
- 16:06 S5-5 毒性データベースを用いた化学物質のインシリコ毒性予測
○安部 賀央里 (名古屋市立大学 大学院薬学研究科)

シンポジウム S6

Track 6 14:30–16:30

ポストコロナ時代における薬剤師業務と薬剤師教育

座長：関根 祐子 (千葉大院・薬)

- 14:30 S6-1 COVID-19への対応と病院薬剤師の活動
○亀田 圭輔 (松戸市立総合医療センター・薬局)

- 14:55 S6-2 薬局薬剤師から見た薬剤師の活動－保険調剤・在宅医療を通して－
○高橋 眞生、和田 喜代香、柴田 るり子、貴田 崇史（株式会社カネマタ カ
ネマタ薬局）
- 15:20 S6-3 コロナ禍におけるドラッグストアの衛生と医療
○石井 真人（株）マツモトキヨシ EQUiA川越店）
- 15:45 S6-4 大学教員から見た薬学部教育の変化
○関根 祐子（千葉大・薬）
- 16:10 総合討論

Ⅲ. 若手シンポジウム

日本薬学会関東支部 若手シンポジウム W

Track 7 14:30–16:30

若手が挑む、薬学生体防御研究の最前線

座長：川島 博人、青木 重樹（千葉大院・薬）

- 14:30 W-1 ムチン糖鎖硫酸化による生体防御
○安保 博仁、川島 博人（千葉大院・薬）
- 14:54 W-2 新しい単球サブセットによるがん転移の促進とその機構
○四元 聡志¹、田中 正人（東薬大・生命）
- 15:18 W-3 ワクシニアウイルスを母体とした、高病原性鳥インフルエンザH5N1ウイルスに対する組換えワクチンの作用機序解析
○本田 智子¹、宗片 圭祐¹、安井 文彦¹、山地 賢三郎¹、阪口 薫雄²、小原 道法¹
（¹東京都医学総合研究所、²熊本大・生命科学研究所免疫学講座）
- 15:42 W-4 尿酸輸送体による尿酸動態制御と生体防御
○豊田 優^{1,2}、高田 龍平¹、松尾 洋孝²、市田 公美³、四ノ宮 成祥²、鈴木 洋史¹
（¹東大病院・薬、²防衛医大・医、³東京薬大・薬）
- 16:06 W-5 メタボローム解析を用いた薬剤性間質性肺炎のバイオマーカー探索
○孫 雨晨¹、齊藤 公亮¹、牛木 淳人²、安部 光洋³、齋藤 好信⁴、柏田 建⁴、堀益 靖⁵、弦間 昭彦⁴、巽 浩一郎³、服部 登⁵、津島 健司⁶、荒川 憲昭¹、赤根 弘敏⁷、豊田 武士⁷、小川 久美子⁷、佐藤 元信⁸、高松 一彦⁸、森 和彦⁹、西矢 剛淑⁹、泉 高司¹⁰、大野 泰雄¹⁰、斎藤 嘉朗¹、花岡 正幸²
（¹国立衛研・医薬安全、²信州大・医、³千葉大院・医、⁴日本医科大院・医、⁵広島大・医、⁶国際医福大・医、⁷国立衛研・病理、⁸アステラス製薬、⁹第一三共RDノバーレ、¹⁰木原財団）